

いのち、 痛みに全力

第30号

CONTENTS

- 2・3 【新春インタビュー】伊藤院長 新春に語る
- 4・5 ガンマナイフ、ティーンズハートセミナー
- 6 新小文字病院 開院30周年記念行事
よみうり健康講座 あなたの血管は大丈夫?
- 7 【後編】青年海外協力隊に参加
アフリカのタンザニアでの
医療活動を経験して
- 8 あたまの体操



新春インタビュー

伊藤院長 初春に語る

社会医療法人財団 池友会理事長
福岡和白病院院長 伊藤 翼

■伊藤 翼(いとう つよし)

昭和17年、長崎県美津島町(対馬)出身。福岡高校—九大医学部卒。68年九大医学部付属病院研修医、75年アメリカ合衆国医師免許取得、76年筑波大外科講師、82年佐賀医科大外科学講師、85年同大学外科学教授、06年同大付属病院副病院長。趣味は野球、テニス、ゴルフ。

■福岡和白病院

昭和62年蒲池真澄初代院長により開院。平成15年医療法人財団池友会福岡和白病院に名称変更、平成17年ヘリポート完備、平成20年医療搬送用ヘリ「ホワイトバード」始動、平成23年「心臓・脳・血管センター」開設。



福岡和白病院は1987年(昭和62年)の開院から、新年を迎えた今年2012年(平成24年)、25年目の大きな節目を迎えた。地域の中核病院として数多くの患者様に支えられて四半世紀。昨年秋にはHNVC(心臓・脳・血管センター)を立ち上げ、同じく年末には最新型の医療機器ガンマナイフ・パーフェクションを導入した。辰年の初春、高度医療、総合医療、そして地域医療の先頭に立つ伊藤翼院長に話を聞いた。

院長は昭和17年生まれ、今年は古希を迎えられますね

いきなり年齢の話ですか。なりたくないけど、こればかりは仕方ありません。上手に年を重ねて元気でいたいですね。

医師を志したきっかけは

私は対馬(長崎県)に1軒だけある造り酒屋の息子として、8人兄弟の7番目に生まれました。父親は私を僧職か、医者か大工にしたかったようです。このうちのどれかで対馬の役に立ってほしい、というのが親の願いだったようです。

■ 高校から福岡住まいですね

姉が筥崎宮の近くに住んでいたの、そこに下宿して福岡高校に通いました。当時は工学部全盛の時代でしたが、父親の言葉から医者を出し九大医学部に進みました。

■ アメリカでのドクター生活が長いですね

九大付属病院で研修医をやったあと1971年からアメリカで5年あまり、インターンや外科レジデントとして勤務しました。ニューヨークのスラム街に病院があって、運び込まれる患者の多くが銃やナイフで重傷を負った人たち。アメリカは契約社会ですから、すぐに手術が必要な患者からも承諾書をもらわなくてはならない。サインに同意せず、腹から飛び出した腸をシートでぐるぐる巻きにして病院から去る猛者もいました。

■ 帰国後は筑波大、佐賀大勤務のあと、 和白病院の院長に就任されました

うれしいのは和白病院が「ホワイトバード（医療用搬送ヘリ）」を所有していることです。民間では当院だけ。これまでに500件運航しましたが、そのうち130件は対馬の搬送で、ようやく対馬に貢献できる場所に戻ってきたという思いです。

■ 和白病院にとって、最近の大きな出来事は

昨年10月に、「心臓・脳・血管センター」(HNVC)を開設しました。新棟を増築し広く明るい環境下で順調に稼働しています。近年の高齢化と食生活の変化に伴う糖尿病の増加などによって、動脈硬化性疾患が急増しています。これらの閉塞動脈疾患や拡張性病変(動脈瘤)に対する治療として、最近

非侵襲的な血管内治療が登場し、治療戦略が大きく変わりつつある。一方、心臓を含めた頭から足先までの血管系をひとつの臓器としてとらえ、血管病は全身病という共通認識のもとで、循環器内科・心臓血管外科・脳血管外科・放射線科が一丸となって、血管病対策チームを編成し、医療スタッフと患者様が「共に生きる医療」をめざして、チーム医療を実践する組織に育ってほしい。

■ 最新型のガンマナイフの 導入も昨年末でした

当院は平成7年に九州で初めてガンマナイフを導入し、これまで6,600人以上の患者様が治療を受けています。昨年12月5日から稼働を開始した新ガンマナイフは、従来の機器に比べて正確な照射によって、病巣部の周辺にある正常組織への被ばくを抑え、治療時間の大幅な短縮が可能となりました。また、これまで治療が困難であった耳鼻科領域や頭蓋頸椎移行部も治療可能なので、センターのますますの発展が期待されます。この病院は24時間365日、救急医療を目的としていますが、地域の中核病院としてたえず先端の医療を目指す必要もあるのです。

■ それにしても医師の勤務はハードですね

いくら疲れていても、忙しくても救急患者は絶対に断るなと言っています。命を助けた喜びは絶対に忘れないよと教えています。新しい年は「辰年」です。漢書によると意味は「動いて伸びる」「整う」とあり、草木が盛んに成長し、形が整った状態を表すとあります。和白病院もいよいよ、成熟期に入るそんな1年にしたいと考えています。

ガンマナイフの 最新型機器が稼働開始

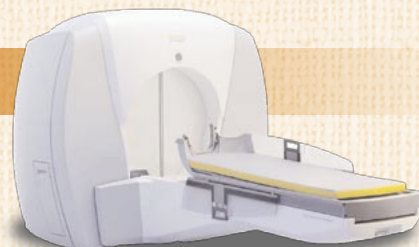
九州では2台目



福岡和白病院は2011年12月中旬からガンマナイフセンター(高木勝至センター長)に新型のガンマナイフを導入、本格治療を開始した。和白病院では1995年にガンマナイフを導入し、これまでに約6,600人が治療を受けた。ガンマナイフは頭部を切開せずに、放射線の一種であるガンマ線を脳腫瘍や脳血管障害などの病巣部に集中照射する治療法。新型のガンマナイフはパーフェクションと呼ばれる最新型の医療機器で、九州では2台目。

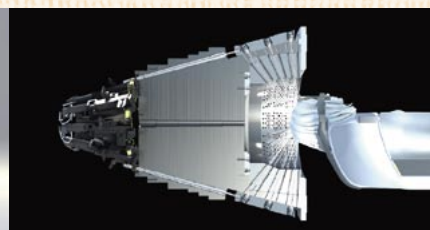
新ガンマナイフ(PERFEXION)

従来のガンマナイフが持つ治療効果と実績を受け継ぎ、より正常組織への被ばくを抑え、治療時間の短縮が可能です。患者様へ、より安全で優しい放射線治療を提供できるようになりました。



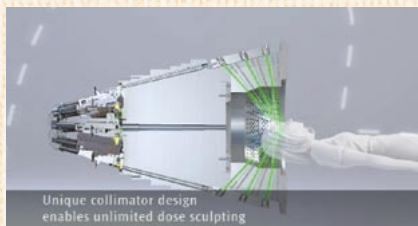
ガンマナイフとは：医療に不可欠なものとなっている放射線。その歴史はレントゲンが1895年にエックス線を発見したことに始まる。1970年代にはコンピューター技術と結びついて、エックス線CTが開発され、人体を輪切りにした横断画像を見ることができるようになり、病気の診断、治療に大きな進歩をもたらした。放射線治療の最大の難点は平面的な照射では治療したい病変部と同時に正常な細胞にも放射線が当たってしまうことだったが、ガンマナイフの登場で解消された。ガンマナイフはスウェーデンの脳神経外科医レクセル教授が開発した放射線治療装置で、ガンマ線を脳内の病変部に集中するように照射し、その部分を壊死させて治療する。1本1本のガンマ線は細いので周囲の正常な細胞には影響を与えず、ビームが集中する個所だけがナイフで切り取ったように治療できることから「ガンマナイフ」の名がついた。

最も正確な照射が可能です。



ガンマナイフ本体にはコバルト60線源が半球状に配置されており、192個から出る3種類のガンマ線を一点に集中させ、病巣をきわめて正確に照射します。治療は完全に自動で行われ、治療精度はきわめて高く、誤差は0.15mm程度です。これこそピンポイントの治療であり、他の放射線治療機器の追従を許しません。

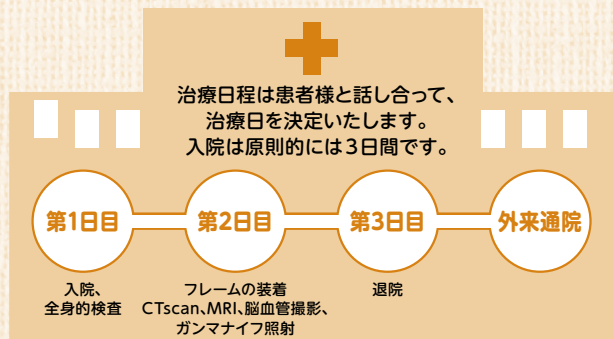
正常組織への被ばくを抑え、より安全に治療できます。



1本1本のガンマ線は弱いので頭皮、骨、脳、血管、神経を傷つけません。また、治療精度が高いため病巣周囲の正常脳、血管、神経の被ばくを最小限にでき、放射線障害の危険性を抑えることができます。3種類のガンマ線は瞬時に選択され、照射を行わないときは線源が遮蔽されます。したがって、照射病巣移動時の被ばくも避けることができます。

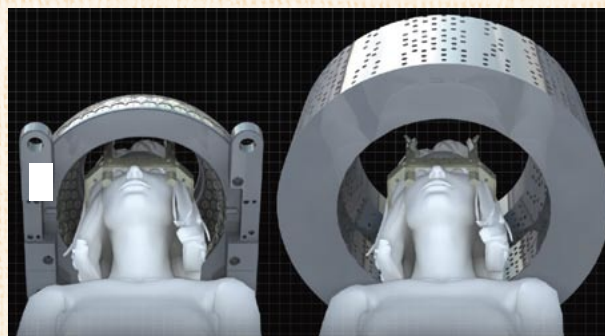
■さらに治療時間が短縮しました。

治療は自動化され、従来モデルと比較して大幅に治療時間を短縮できました。高齢の患者様でも負担が少なくなっています。また、従来どおり実際の治療は1日で終了し、入院も原則3日間と短期間です。もちろん剃髪も不要です。



■治療可能領域が拡大しました。

治療可能領域が拡大し、頭蓋内であれば問題なく治療できます。また、従来治療が困難であった耳鼻科領域や頭蓋頸椎移行部も治療可能です。



従来のガンマナイフ

新ガンマナイフ
(PERFEXION)

ティーンズハートセミナー

社会医療法人財団 福岡和白病院は11月13日、高校生を対象にした心臓外科手術の模擬体験セミナーを、福岡市東区の同病院内で開いた。外科医の不足は年々、深刻になってきており、危機感を持つ同病院では今年10月の心臓・脳・血管センター(HNVC)開設を機に、「外科医への道」プログラムを企画した。

参加したのは、福岡、香住丘、宗像、新宮高校の1～3年の男女計16人。講義や院内見学のあと、外科医の基本操作である糸結び、皮膚縫合の方法について説明を受け、研修キットで実践に入った。

縫合では、ぎこちない手つきで持針器、医療用ハサミなどを動かしていた参加者は、しばらくするとスムーズになり、岡崎幸生・センター長兼心臓血管外科部長から「うまく縫えた。傷が治るね」と高評価を得て、満足そうだった。

模擬手術では、2人ずつに分かれて豚の心臓を解剖。各部位の名称、役割などについて、説明を受けたり確認したりしていた。また、拡張心筋症の手術法であるバチスタ手術にも挑戦。左心室を切開したあと、縫合に取り組んだ。

福岡高校2年、国崎晃平さん(17)は「医師、それも外科医になろうと思っている。人の命を救うため、病院の方々が努力されている姿が心に強く響いた」と感想を述べた。

伊藤院長は「進路を決める前に医学への興味や医療職の仕事を理解してもらうためにセミナーを開いた。ぜひ、医学部、外科医を目指してほしい」と話していた。



新小文字病院 開院30周年記念行事

福岡和白病院のグループ病院「新小文字病院」は北九州市門司区大里新町に新築・移転して約4年になる。救急医療を中心に地域の中核病院として急性期医療の一端を担うべく職員一丸となり取り組んできた。

当院は小倉北区大倉に前身である小文字病院を開院してから今年でちょうど満30年の節目。そこで平成23年11月18日からの3日間、30周年記念行事として、医療連携会・フットサル大会・第2回新小文字健康フェスタを実施致した。どの行事にも大勢の方々が参加、予想を上回る盛況な会となった。

甲斐院長は「これからも伝統から学びこれを温故知新とし、しかし、時代とともに変わるべきところは大胆に変える。そして、他のあらゆる部門と連携を強固にし、地域になくてはならない病院としての役割を果たして行きたいと思います」と話した。

医療
連携会



健康
フェスタ



よみうり健康講座 あなたの血管は大丈夫？

■「よみうり健康講座 あなたの血管は大丈夫？」年間テーマ案 改訂案 12月13日

- 第3回 心臓と血管病Ⅰ～血管が老化したら・心臓カテーテルの進歩～
平成24年1月7日(土)
大塚 頼隆(循環器内科部長、CCU室長)
- 第4回 心臓と血管病Ⅱ～より患者に優しい外科的治療法～
平成24年2月11日(土・祝)
岡崎 幸生(心臓・脳・血管センター長、心臓血管外科部長)
- 第5回 不整脈も要注意～不整脈と血管病～
平成24年3月3日(土)
野口 博生(循環器内科部長)
- 第6回 放射線を使った血管病の診断法
平成24年4月14日(土)
落合 礼次(放射線診断・治療センター長)
- 第7回 糖尿病は万病の元～腎臓病・血管病とのかかわり～
平成24年5月12日(土)
齋藤 太郎(統括副院長、HNVC顧問)
- 第8回 大動脈に起こる血管病～大動脈瘤破裂は命にかかわる～
平成24年6月2日(土)
岡崎 幸生(心臓・脳・血管センター長、心臓血管外科部長)

- 第9回 末梢血管に起こる血管病～閉塞性動脈硬化症・下肢静脈瘤～
平成24年7月7日(土)
樋口 真哉(心臓血管外科医長)
伊元 裕樹(循環器内科医師)
- 第10回 脳卒中と血管病Ⅰ
平成24年8月4日(土)
福山 幸三(脳神経センター長)
- 第11回 脳卒中と血管病Ⅱ～カテーテルを使った治療と成績～
平成24年9月1日(土)
原田 啓(脳血管外科部長)
- 第12回 心臓・脳・血管センターの役割～皆さんの健康を守るために～
平成24年9月
齋藤 太郎(統括副院長、HNVC顧問)
岡崎 幸生(心臓・脳・血管センター長、心臓血管外科部長)

28号からの続き
後編

青年海外協力隊に参加 アフリカのタンザニアでの 医療活動を経験して

リハビリテーション科
佐々木 圭太

どの土地にも、そこにどっぷり浸かって初めて感じられることがたくさんあります。きっとそれは、短期間の観光旅行では見えてこないその国の本質的な何か。もっと深くに根ざした、その国を形作る大切なもの。人と人との密な営み、人間の温もりというものを、直接肌で感じるができる貴重なチャンスなのです。しかし、タンザニアのコミュニティーの温もりをうらやましく思うと同時にどこか自分の祖国が日本でよかったという思いを抱いたのも事実でした。貧困のために病気になっても病院にかかれない、いや、たとえお金があったとしても必要十分な医療を受ける機会に恵まれないというアフリカの現実を目の当たりにして受けた衝撃は、これまでの漠然と「当たり前」としてとらえていた自分のさまたまな認識に変化を強いるものでした。日本で過ごしていた自分がどれほど医療に恵まれた環境にいたのかということを感じたのもまた、タンザニアという国にどっぷり浸かることができたからなのです。それこそが「和白病院でもう一度働きたい」という原動力にも繋がりました。

アフリカで過ごしアフリカを肌で感じた2年間は、同時に客観的に日本を知る貴重なひとときでした。世界からみた日本とは、日本社会とは、日本人とは、日本語とは、日本の歴史とは、そして日本の医療とは。きっと日本を出ていなければ気がつかなかったことがたくさん。井の中の蛙が大海から井戸を眺めたら一体何が見えるのか、そういう意味でもとても貴重な経験をすることができたと感じています。また、宗教、文化、歴史、言語、環境問題、国際協力・・・2年間を通して自分がいろいろなことに興味を持てるようになったのも大きな変化です。

自分の興味の裾野が広がったことは、これからの自分の可能性を広げてくれる大切な下地になるのではないかと思います。

思い出はきっと美化されるもの。2年間で関わった全ての人キラキラした笑顔で思い出される今日この頃です。辛いことや悲しいこと、腹立たしいことも無限に思えるほどあった2年間でしたが、今ではかけがえのない宝物として思い出されるから不思議なものです。

一期一会。日本人もタンザニア人も、自分が関わることはできた、そして自分を支えてくれた人々に対する感謝の気持ちを忘れてはならないと感じています。

日々の業務に忙殺されながらも、できることならもう一度でいいからアフリカの空気を胸いっぱい吸いたいという思いが日々募ります。

アフリカにいては日本を想い、日本にいてはアフリカを想う。

異国での2年間の経験を通して変わらなかったもの、それは人一倍ナイモノネダリな性格なのでした。



ブログ『maisha ya kta』

タンザニアで過ごした2年間、見たまま感じたままを素直に綴ったブログです。自分で読み返しても新鮮に感じるがあるので、きっとみなさんにも多くのことを感じてもらえると思います。興味のある方はぜひどうぞ。

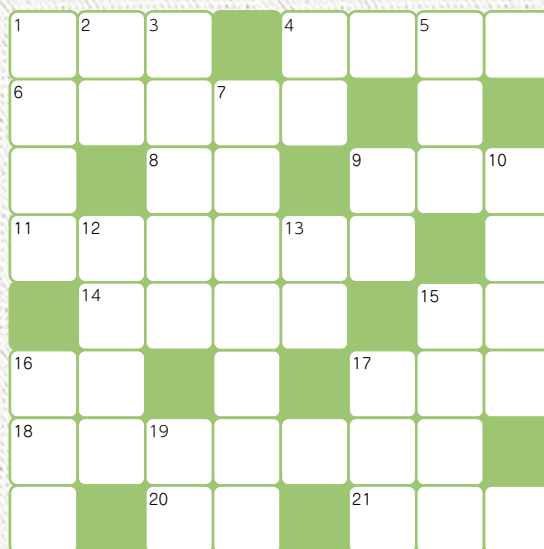
<http://maishajara-cta.seesaa.net/>

タテのカギ

- 自分が生まれ育った土地。故郷。「一愛」「一料理」
- 慶事における進物や贈答品に添える飾り。黄色い紙を長六角形の色紙で包んだ形状。祝儀袋等の表面に印刷された、簡略化されたものもある。しばしば水引と併用される。
- 憎んで敵視すること。また、その人。「一にする」
- 日本では古くから味噌汁、冷奴、蕎麦、うどんなどの薬味として用いられる他、鍋料理に欠かせない食材のひとつ。
- オランダの画家。2010年は没後120年であり九州国立博物館でも絵画展覧会が開催された。「ひまわり」「種まく人」などの作品がある。
- インターネットとの親和性が高く、PCの機能をベースとして作られた携帯電話・PHS。
- アルファベットの最初の文字
- メタボリックシンドロームの診断にも利用される〇〇〇〇周りは、男性85cm女性90cm以上は要注意。
年末年始で太った方は気をつけましょう。
- ゆるキャラグランプリ2011王者で熊本県のキャラクター
- 人から恩義・援助・恥辱などを受けて、その報いをしていない状態。「この一はいつかきつと返す」
- 古文書・暗号・古代言語などを読み解くこと。「古代文字を一する」「暗号文を一する」
- 名前。特に、書類などに所有者・責任者などとして表立って記される名前。「妻の一で預金する」「一を借りる」
- 物が燃えるときに立ちのぼるもの。有機物が不完全燃焼するときに出る気体で、固体の微粒子が浮遊している状態をいうが、液体の微粒子が含まれている場合もある。「一がたちこめる」
- あるものに、さらに付け加えること。添加。「条件をもう一つ一する」

ヨコのカギ

- 樹木の新芽。サンショウの若芽。
- 年につける称号。中国の漢の武帝の時の建元を初めとし、日本では645年の大化に始まる。
- 人工の日本三大美林の1つ。静岡の天竜杉、三重の尾鷲ヒノキと並ぶ奈良の高級のブランド材の一つとして有名。
- 草などを刈るのに使う道具。鉄製で、三日月形の内側に刃があり、木の柄を直角につけたもの。
- その年の干支(えと)によって定められる、最もよいとされる方角。その方向に歳徳神(としとくじん)がいるとされる。「節分に〇〇〇巻を食べる」
- 病院(診療所)と病院(診療所)間をつなぐ際に緊急な処置の必要な患者様のために福岡和白病院では〇〇〇〇〇〇を導入しています。医師、看護師等の医療スタッフを乗せ24時間走ります。
- 長くて邪魔なケーブルや配線は〇〇〇〇〇してスッキリと収納。
- よい所、必要な部分を取り去ったあとの残り。役に立たないつまらないもの。くず。
- 忘れないように要点を書き留めること。また、書き留めたもの。覚え書き。
- 〇〇〇で手編みのマフラーを作る
- 「〇〇〇〇〇〇〇・コンセント」は「正しい情報を得た(伝えられた)上での合意」を意味する概念。医療の現場においては、特に医師が患者に診療の目的・内容を十分に説明して、患者の納得を得て治療すること。
- 物事の意味やよしあしを直感的に感じとり、判断する能力。
- 物事の筋道。道理。



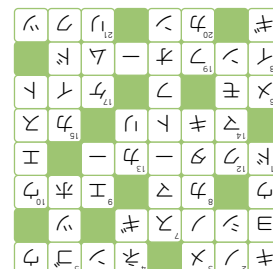
解答はページ下段に掲載しています。

基本理念

手には**技術**、
頭には**知識**、
患者様には**愛**を

基本方針

- 高度医療** 学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備整備の拡充に努めます。
- チーム医療** 患者様の目線に立った安全で安心できるチーム医療を提供すべく、急性期医療から、早期リハビリ、退院支援までニーズに沿った医療を提供します。
- 地域医療** いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域の中核病院を目指し、地域の医療・福祉施設と密接な連携を推進します。



※解答の読み方は上から左から

病院機能評価認定 臨床研修病院

社会医療法人財団 池友会



福岡和白病院

〒811-0213 福岡市東区和白丘2丁目2-75

TEL.092-608-0001

E-mail: info@f-wajirohp.jp http://www.f-wajirohp.jp